



2008年4月16日
北海道ガス株式会社

石狩LNG基地の建設計画ならびに企画会社の設立について

北海道ガス株式会社（本社：札幌、社長：大槻博）は、今後一層の拡大が見込まれる北海道内の天然ガス需要に対応し、将来にわたり安定的に供給できる体制を整えるため、石狩湾新港地域にLNG（液化天然ガス）受入基地（仮称：石狩LNG基地）を新たに建設することといたしました。

当社では、1996年から苫小牧市勇払地区で産出する天然ガスを導入し、札幌・千歳・小樽の各地区に供給する都市ガスの天然ガス化を2005年までに完了いたしました。引き続き2006年には、函館地区においてLNG原料による天然ガス化を完了しております。環境性、供給面・価格面の安定性に優れた天然ガスは、産業用・業務用を中心に需要を大きく伸ばし、当社の年間ガス販売量も天然ガス導入時の約1.8倍（1996年度 2007年度）にまで飛躍的に増加いたしました。

現在、北海道での一次エネルギーに占める天然ガスのシェアは、全国の約14%に対し、まだ2%弱にとどまっていますが、地球温暖化対策が急がれる中、CO₂排出量が少なく環境性に優れた天然ガスの需要は引き続き順調に拡大するものと思われれます。新たなLNG基地の稼働により、現在の主力原料である苫小牧市勇払からのパイプライン受入による天然ガスに加え、今後の需要増に対応できる十分な天然ガス原料を確保するとともに、原料調達先を多様化することで、長期の安定供給体制を構築いたします。

石狩LNG基地の運営にあたりましては、基地設備を所有する基地会社を設立する予定です。基地の運用は当社が担務いたしますが、共同出資により設立する基地会社が設備を所有することで、この基地が北海道のエネルギー供給インフラとして広く活用されていくものと考えております。

また、基地会社設立に向けて、具体的な事業内容等について検討を行う企画会社「北海道LNG企画株式会社」を道内ガス事業者とともに設立することといたしました。道内初となる大型LNG受入基地が有効に活用されるよう、企画・調査等を行ってまいります。

石狩LNG基地の建設計画概要

- (1)建設場所 石狩市新港中央4丁目(石狩湾新港中央埠頭)
- (2)敷地面積 約10万㎡
- (3)主な設備 LNGタンク(18万KL×1基)、LNG気化器、外航LNG船受入バース、内航LNG船およびローリー出荷設備等
- (4)予定工期 2008年8月地盤改良工事着手、2013年12月運転開始
- (5)総事業費 約400億円

LNG基地の設備仕様、レイアウト等は今後、詳細な検討を進めてまいります。

企画会社の設立について

- (1)会社名 北海道LNG企画株式会社
- (2)事業内容 LNG受入基地事業の企画・コンサルティング
LNG受入基地事業に関する調査研究
- (3)資本金 1,000万円
- (4)出資者 当社および道内都市ガス事業者8社(旭川ガス㈱、釧路ガス㈱、室蘭ガス㈱、帯広ガス㈱、苫小牧ガス㈱、滝川ガス㈱、岩見沢ガス㈱、美唄ガス㈱)
- (5)代表者 稲見雅寿(北海道ガス㈱常務執行役員企画副本部長)
- (6)設立時期 2008年5月中旬に設立予定

以上

LNG基地
建設予定地

